

治療の全てを完結する 整形外科専門病院

札幌清田整形外科病院は、整形外科全領域において、専門的な医療を提供する整形外科専門治療完結型病院である。

予防から手術を含めた急性期医療、そしてリハビリテーション治療まで、整形外科的な治療の全てを完結できることが最大の特長だ。骨粗しょう症では、最高水準の骨密度測定器を使用し、骨折抑制効果のある薬剤をそれぞれの病態に応じて使い分け、専門スタッフによるチーム医療で生活指導にも当たっている。

脊椎・膝関節・肩関節・上肢・股関節・スポーツなどの各疾患に対しても、専門の医師が保存療法、低侵襲手術に取り組んでいる。



札幌清田 整形外科病院

院長
片平 弦一郎氏

1985年札幌医科大学大学院卒業。日本整形外科学会整形外科専門医。日本整形外科学会脊椎脊髄病医。日本骨粗鬆症学会評議員。北海道整形災害外科学会評議員。医学博士

札幌市清田区

精密かつ安全性の高い 人工股関節置換術に定評

人工股関節置換術に特化することで、より質の高い診療の提供に努め、豊富な実績を持つことで知られる人工股関節専門クリニック。

従来の手術に比べ、傷口が20cmから7cmと小さいなど体への負担も少なく、手術翌日からリハビリテーションが行えるMIS（最小侵襲手術）を実施。入院期間も平均10日間と短く、退院後の早期社会復帰に貢献。

ナビゲーションシステムを導入し、変形が強い股関節難症例にも対応。経験豊富な医師2人体制で診療にあたり、12年1年間の症例数は、再置換を含めて668件を実施。患者の不安に配慮した診療姿勢も評判で、患者は国内外から訪れる。



石部基実クリニック

院長
石部 基実氏

1982年北海道大学卒業。米国のチェスター大学、NTT東日本札幌病院人工関節センター長などを経て、08年石部基実クリニック開院。日本整形外科学会専門医。日本リウマチ学会専門医ほか。医学博士

札幌市南区

人工関節手術に高い実績 術後リハビリも充実

深澤雅則院長の専門である股関節をはじめ、肩・肘・指・膝も含めた人工関節手術は、現在までに1200例を超える症例実績を持ち、整形外科医の間でも知る人ぞ知る存在。人工関節手術は、通常1時間半、2時間以上を要するが、同院では手術スタッフのチームワークで40分～1時間15分と短時間で実施。手術時間が短いため術中の出血量も少なく、患者の心臓への負担も軽く、術中感染も非常に少ないと信頼も厚い。

内科疾患や認知症を合併する高齢患者も受け入れ、大腿骨頸部骨折や脊椎圧迫骨折の治療から、術後早期からのリハビリも充実。早期退院と社会復帰に努める。

内科疾患や認知症を合併する高齢患者も受け入れ、大腿骨頸部骨折や脊椎圧迫骨折の治療から、術後早期からのリハビリも充実。早期退院と社会復帰に努める。



ふかざわ病院

理事長・院長
深澤 雅則氏

1973年国立弘前大学医学部卒業。北海道大学医学部整形外科入局。87年開設。元札幌市整形外科医会副会長。元札幌市医師会理事。北海道医師会副会長。日本整形外科学会専門医

札幌市西区

人工膝関節手術を中心に 全国でも高い評価

膝関節外科とスポーツ整形外科の専門病院として、道内外から高く評価される。手術件数は月平均約60例、年間約700例を超え、200例を超える人工膝関節形成術を中心に、関節鏡視下の膝の靱帯再建術、半月板手術、肩関節・脊椎手術など、各専門医による高度な医療の提供に努めている。

八木知徳院長は膝関節手術のエキスパートとして知られ、人工膝関節の「ライニングセンター」では全国各地から整形外科医が見学に訪れる。常勤医師7名、北大スポーツ医学講座の協力など、非常勤医師8名が在籍。上肢外来、脊柱外来、肩関節外来、リウマチ・膠原病外来も開設する。

膝関節外科とスポーツ整形外科の専門病院として、道内外から高く評価される。手術件数は月平均約60例、年間約700例を超え、200例を超える人工膝関節形成術を中心に、関節鏡視下の膝の靱帯再建術、半月板手術、肩関節・脊椎手術など、各専門医による高度な医療の提供に努めている。



山の手通八木病院

理事長・院長
八木 知徳氏

北海道大学医学部卒業。日本整形外科学会・日本リウマチ学会各専門医。日本整形外科学会・日本人工関節学会・日本膝関節学会各評議員。日本体育協会公認スポーツドクターなど。医学博士

札幌市西区

専門医集団がそれぞれの 得意分野で力を発揮

えにわ病院の整形外科は、股関節、膝関節、脊椎、上肢・肩関節の4つの専門グループで、整形外科疾患全般に対応している。増田武志理事長が率いる股関節グループの2012年度股関節手術は約570件、そのうち人工股関節置換術が500件弱と、きわめて高い実績を誇っている。また、乳児の先天性股関節脱臼に対する整復術、成人の股関節臼蓋形成不全に対する骨切り術、高齢者の骨折に対する骨接合術など、多様な症例、術式にも積極的に対応するなど、安全で高度な医療技術と最新鋭機器を用いて、高水準の医療を提供している。

えにわ病院の整形外科は、股関節、膝関節、脊椎、上肢・肩関節の4つの専門グループで、整形外科疾患全般に対応している。増田武志理事長が率いる股関節グループの2012年度股関節手術は約570件、そのうち人工股関節置換術が500件弱と、きわめて高い実績を誇っている。また、乳児の先天性股関節脱臼に対する整復術、成人の股関節臼蓋形成不全に対する骨切り術、高齢者の骨折に対する骨接合術など、多様な症例、術式にも積極的に対応するなど、安全で高度な医療技術と最新鋭機器を用いて、高水準の医療を提供している。

えにわ病院の整形外科は、股関節、膝関節、脊椎、上肢・肩関節の4つの専門グループで、整形外科疾患全般に対応している。増田武志理事長が率いる股関節グループの2012年度股関節手術は約570件、そのうち人工股関節置換術が500件弱と、きわめて高い実績を誇っている。また、乳児の先天性股関節脱臼に対する整復術、成人の股関節臼蓋形成不全に対する骨切り術、高齢者の骨折に対する骨接合術など、多様な症例、術式にも積極的に対応するなど、安全で高度な医療技術と最新鋭機器を用いて、高水準の医療を提供している。



えにわ病院

理事長
増田 武志氏

1969年北海道大学医学部卒業。米国のワシントン大学留学。北大医学部助教授などを経て90年からえにわ病院。副院長、院長、理事長兼院長を経て2007年理事長。日本整形外科学会専門医

恵庭市